

think

考える

二子塚地区 吉田 勝郎さんご夫婦。
中島村を愛する心は今も昔も
変わりません。



「大正・昭和・平成を
生きてきたわしらが思うこと」

ひと昔前は名字を聞いただけで、二子塚地区の者、松崎地区の者と分かったものですが、戦後の核家族化や人口増加で交流が盛んになったのは本当に喜ばしいことです。それに、現村長の父上が村長を務めていた頃の圃場整備事業(昭和38年度～41年度)のおかげで、交通の便も以前と比べると格段によくなりました。

人もモノも豊かになった今、この中島村の文化を“心の教育”につなげてほしいですね。

N A K A J I M A

theory

法則

「中島未来塾」委員長 円谷 勤さん。
村の人材育成を進めるなかで
見えたもの。



「人づくりがあって成功する
村づくり」

21世紀に向けた新しい村づくりを視察するために村で行っている海外派遣研修(平成3年～)の参加者が「中島未来塾」の前身です。

メンバーは現在59名。子供会と協力して行った「花いっぱいコンクール」や、文化遺産をはじめ村のこともっと知ってもらうために実施した「ウォークラリー大会」など今までさまざまな活動を展開してきました。まず人づくり、これこそ村づくりを成功させるセオリーなんですよ。

自然との暮らしの中で見つけた中島村らしさ。

theme

課題

(有)グリーンスイセイ 緑川 雄一郎さん
水耕栽培でつくる年間28万8
千株のチンゲン菜。



「土から水へ」
新たなテーマに挑みます。

はじめはトマトを生産していましたが、労働力、土壌病害虫、後継者などの問題から、連作障害の心配もなく、「明るく」「清潔」「軽作業」といった快適な労働環境でできる水耕栽培に転換しました。

これからは、消費者の安全性、本物志向等がますます強くなります。安全で高い品質の野菜を出荷できるように心掛けていきたいですね。生産者と消費者の信頼関係を大切にこれからもがんばります。

L i f e S t y l e

thank

感謝

岡ノ内地区 大越 則夫さんご家族。
家の新築と赤ちゃん誕生で村
から記念樹プレゼント。



「記念樹はキンモクセイと
ハナミズキです」

花と緑のある暮らしって本当に素敵ですよ。我が家も新築時と子どもが生まれた時に、それぞれ記念樹をいただきました。これは美しい自然景観と快適な居住空間をめざす村の「全村公園化計画」の一環として交付されたものです。

身の回りの家や道路も公園の一部、そんな考えをもつ中島村はまさに緑化木の里。

子どもたちも記念樹とともに健やかに育ってほしいと思います。